



サウジ原油調整金上げ 5月積み、中東緊迫映す



サウジアラビア国有石油会社のサウジアラムコは、5月積みのアジア向け原油の調整金を2カ月連続で引き上げる。代表油種の「アラビアンライト」は4月積み比べ0.30ドル高い1バレル2.00ドルの割り増しとする。産油国の自主減産に加え、中東情勢の緊迫で供給が減るとの見方を映した。

日本の石油会社がサウジと結ぶ長期契約の価格は、アジア指標のドバイ原油とオマーン原油の月間平均価格に、需給バランスや価格動向を踏まえてサウジが設定する油種ごとの調整金を加減して決まる。サウジが原油需給をどう見ているかを示すとされ、市場からの注目が高い。

アラビアンライトの割り増し幅は1月積み以来4カ月ぶりの大きさとなる。最も重い「ヘビー」は0.50ドルの割り増しと4月積みのゼロから引き上げ、4カ月ぶりに割り増しとする。最も軽質の「スーパーライト」を除く4油種で調整金を引き上げた。

産油国でつくる石油輸出国機構（OPEC）プラスは3日、表明している減産幅に対して過剰に生産している参加国に、4月中に補正計画を出すように求めた。イスラエルとイランとの緊張も高まり、供給懸念が意識されている。需要面でも中国の経済回復への期待が浮上するなか、原油価格には上昇圧力がかけやすくなっている。



ENEOS、石油化学品のCO2排出量算出 メーカー向け



ENEOSは8日、石油化学品を生産する過程で排出した二酸化炭素（CO2）の量を計算するサービスを始めたと発表した。食品メーカーや自動車業界でサプライチェーン（供給網）全体でのCO2排出量を把握したいというニーズが高まっており、最終製品のCO2排出量の算出に役立ててもらおう。石油化学品の競争力強化につなげる。

まず、ペットボトルなどに使われるパラキシレンで算出を始めた。順次、他の石油化学品にも対象を広げる。製品のキログラムあたりなどのCO2排出量を示す。算出に料金はかからない。

石油化学品は原料となる原油を精製する過程が複雑で、これまでCO2排出量の正確な計算が難しかったという。ENEOSはこのほど、NTTデータと組んで新たな計算システムを開発した。

環境意識の高い企業の間では近年、製品ごとに原材料の調達、生産から廃棄までに出るCO2を示す「カーボンフットプリント」を算出する動きが活発になっている。どの過程で排出量が多いのかを把握できれば、効率的な削減につなげられる。



海水で分解しやすい樹脂、強度も高く 産総研とカネカ



開発した生分解性プラスチックは伸びやすく海水中で分解できる=産業技術総合研究所提供

産業技術総合研究所とカネカなどは海水中でも分解しやすいプラスチックを開発した。生分解性プラスチックの原料であるポリ乳酸に微生物が合成する材料を混ぜ、より強度を高く、海水で分解しやすくした。

生分解性プラスチックの原料として広く使われるポリ乳酸は、プラスチックとして一般的なポリプロピレンやポリエチレンテレフタレート（PET）と似た性質を持つため、代替材料として期待されている。ただ、伸びにくくもろい特徴があり、海水で分解しにくい。

研究チームは、遺伝子改変した微生物を使って合成したLAHBという材料を、ポリ乳酸に混ぜた。LAHBは乳酸と、微生物がエネルギー源として生成する物質からできた物質だ。これまでの実験で、LAHBは海水中で分解しやすい性質を持つとわかっている。

開発したプラスチックを海水中につけると、半年で約50%以上が分解した。ポリ乳酸のみでできた従来の生分解性プラスチックに比べて伸ばしたときの強度が15倍以上になった。透明性も高く、使用できる用途も広がるという。

研究チームは生産コストの高さなどの課題を克服して、実用化を目指す。産総研の今井祐介研究グループ長は「（海洋汚染が問題になっている）マイクロプラスチック問題が指摘される中で、海水中のような一般的な自然環境に出たときに分解されることを示していきたい」と話す。



週間原油コストの推移

	期間	原油相場		為替レート (▲は円高)		円建て原油コスト	
		ドル/バレル	前週比	ドル/円	前週比	円/ℓ	前週比
火曜日～ 月曜日	2/27～3/4	83.25	0.27	151.44	0.08	79.29	0.30
	3/5～3/11	83.34	0.09	149.83	▲1.61	78.53	▲0.76
	3/12～3/18	84.76	1.42	148.99	▲0.84	79.42	0.89
	3/19～3/25	87.00	2.24	151.77	2.78	83.04	3.62
	3/26～4/1	87.44	0.44	152.45	0.68	83.84	0.80
	4/2～4/8	90.78	3.34	152.58	0.13	87.11	3.27
水曜日～ 火曜日	2/28～3/5	83.33	0.54	151.40	▲0.03	79.35	0.50
	3/6～3/12	83.36	0.03	149.12	▲2.28	78.18	▲1.17
	3/13～3/19	85.36	2.00	149.48	0.36	80.25	2.07
	3/20～3/26	86.90	1.54	152.29	2.81	83.23	2.98
	3/27～4/2	87.56	0.66	152.54	0.25	84.00	0.77
	4/3～4/9	91.19	3.63	152.62	0.08	87.53	3.53

※原油はドバイ、オマーン平均、為替レートは三菱UFJ銀行のTTSレート